

県内企業の景況意識調査

(第191回)

- * 2024年 10～12月期〈Ⅳ期〉の実績見込み
- * 2025年 1～3月期〈Ⅰ期〉の見通し

一進一退

今期（2024年10～12月期〈Ⅳ期〉）の業況判断BSIは、前期比2.8ポイント低下の▲11.3となった。業種別のBSIは『製造業』で改善、『建設業』『卸・小売業』『運輸業』『金融・不動産業』『サービス業』の5業種で悪化した。

今期の業況判断BSIは、観光関連が好調なサービス業が引き続きプラス水準となったが、幅広い業種で前期比悪化しており、全体でも小幅な悪化となった。

来期（2025年1～3月期〈Ⅰ期〉）の業況判断BSIは、今期比3.0ポイント低下の▲14.3となる見通し。業種別のBSIは『建設業』『卸・小売業』の2業種で改善、『製造業』『運輸業』『金融・不動産業』『サービス業』の4業種で悪化の見通しである。

来期については、物価高による消費マインドの悪化、米国政権交代による経済的な影響に対する懸念の声があり、業況判断BSIは悪化する見通し。

*2024年 10～12月期〈Ⅳ期〉の実績見込み

製 造 業……………4期ぶりの改善

卸・小売業……………卸売業は悪化、小売業はやや悪化

建 設 業……………2期ぶりの悪化

サービス業……………7期連続のプラス水準

一進一退

◎業況判断

【今期】(2024年10～12月期〈Ⅳ期〉)

業況判断BSI：▲11.3（前期比▲ 2.8㊦）

＜内訳＞

- ・よくなった 12.5%（前期比+ 1.0㊦）
- ・悪くなった 23.8%（前期比+ 3.8㊦）
- ・変わらない 63.7%（前期比▲ 4.8㊦）

＜業種別＞

- ・前期比改善：1業種（『製造業』）
- ・前期比悪化：5業種（『建設業』『卸・小売業』『運輸業』『金融・不動産業』『サービス業』）

今期の業況判断BSIは、観光関連が好調なサービス業が引き続きプラス水準となったが、幅広い業種で前期比悪化しており、全体でも小幅な悪化となった。

【来期】(2025年1～3月期〈Ⅰ期〉)

業況判断BSI：▲14.3（今期比▲ 3.0㊦）

＜内訳＞

- ・よくなる 8.9%（今期比▲ 3.6㊦）
- ・悪くなる 23.2%（今期比▲ 0.6㊦）
- ・変わらない 67.9%（今期比+ 4.2㊦）

＜業種別＞

- ・今期比改善：2業種（『建設業』『卸・小売業』）
- ・今期比悪化：4業種（『製造業』『運輸業』『金融・不動産業』『サービス業』）

来期については、物価高による消費マインドの悪化、米国政権交代による経済的な影響に対する懸念の声があり、業況判断BSIは悪化する見通し。

◎売上高と収益

【今期】

売上高BSI：▲ 4.1（前期比▲ 5.9㊦）

3業種で悪化

収益BSI：▲ 8.3（前期比+ 6.2㊦）

5業種で改善

【来期】

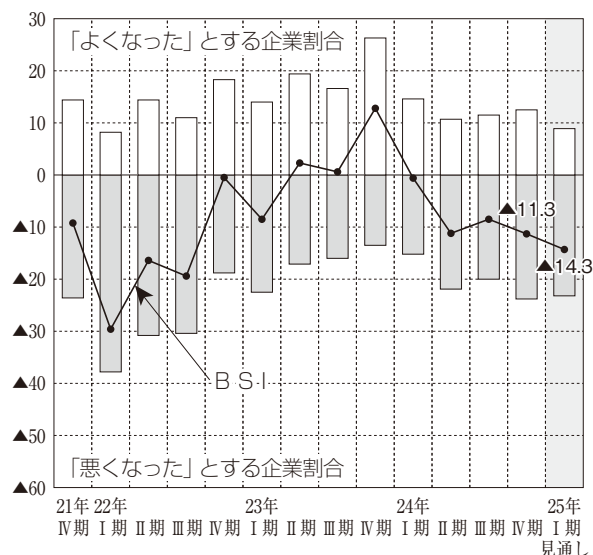
売上高BSI：▲ 7.8（今期比▲ 3.7㊦）

4業種で悪化見通し

収益BSI：▲16.8（今期比▲ 8.5㊦）

5業種で悪化見通し

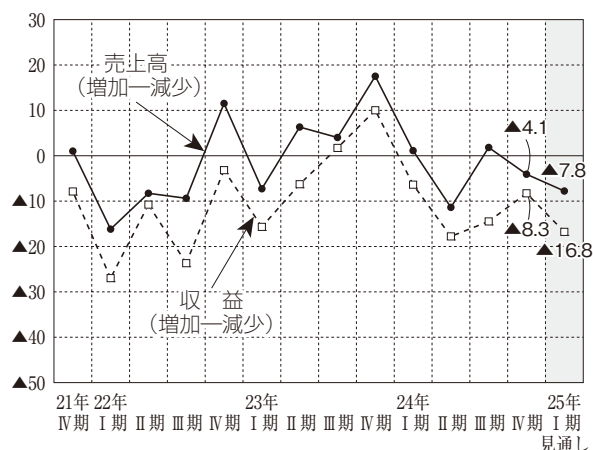
業況判断（BSI）



業況判断指数内訳（BSI）

	2024年 Ⅱ期	2024年 Ⅲ期	2024年 Ⅳ期	2025年 Ⅰ期見通し
建 設 業	▲12.0	▲10.5	▲14.3	0.0
製 造 業	▲11.8	▲20.3	▲11.4	▲18.1
卸・小売業	▲24.3	▲21.9	▲30.8	▲28.2
金融・不動産業	20.0	40.0	20.0	20.0
運 輸 業	▲20.0	15.4	0.0	▲ 9.1
サ ー ビ ス 業	3.2	12.5	6.7	0.0
全 産 業	▲11.2	▲ 8.5	▲11.3	▲14.3

売上高と収益（BSI）



◎所定外労働時間と雇用者数の現状

【今期】

所定外労働時間 B S I : ▲ 6.1 (前期比 + 3.2ポイント)

5業種で上昇

雇用者数の現状 B S I : ▲37.4 (前期比▲ 0.4ポイント)

3業種で低下

【来期】

所定外労働時間 B S I : + 2.5 (今期比 + 8.6ポイント)

◎経営上の問題点

1位:「売上不振」(28.2%)

2位:「原材料仕入価格高騰」(22.7%)

3位:「人手不足」(18.4%)

4位:「人材不足」(14.1%)

5位:「競争激化」(6.1%)

業種別にみると、「売上不振」と回答した割合は、『卸・小売業』が42.1%と特に高い。「原材料仕入価格高騰」は『金融・不動産業』で40.0%と最も高くなっている。

◎設備投資実施割合

【今期】

実施企業の割合: 39.9% (前期比▲ 2.5ポイント)

3業種で低下

<投資目的>

1位:「補修・更新」(74.2%)

2位:「生産能力の拡大・売上増加」(9.1%)

3位:「合理化・省力化」(7.6%)

【来期】

実施予定企業の割合: 41.7% (今期比 + 1.8ポイント)

2業種で上昇見通し

<投資目的>

1位:「補修・更新」(64.3%)

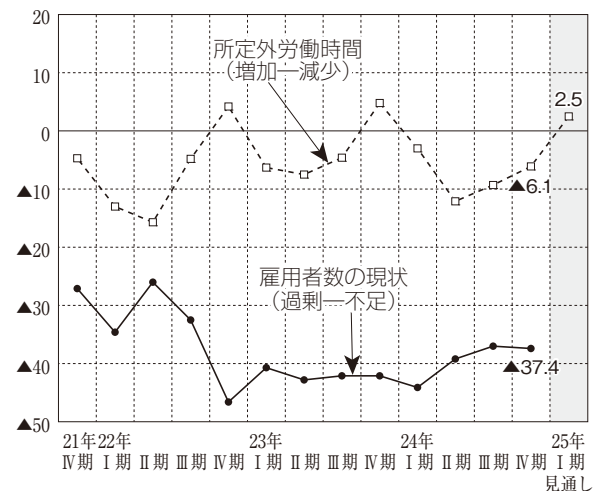
2位:「合理化・省力化」(15.7%)

3位:「生産能力の拡大・売上増加」(8.6%)

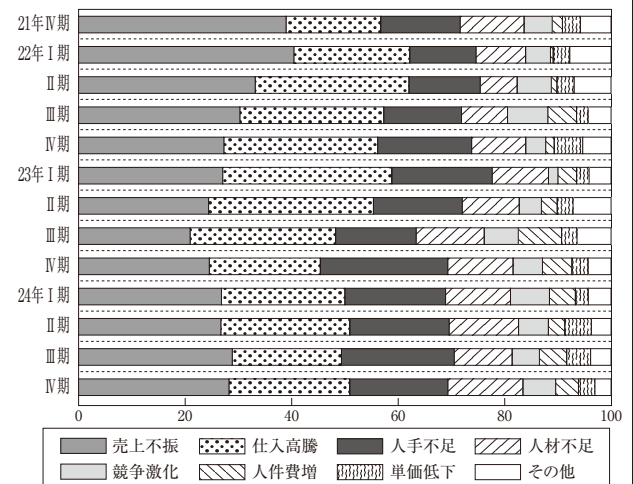
◎「2024年の冬季ボーナスの支給予定額」について

今回の調査において、「2024年の冬季ボーナスの支給予定額」について尋ねたところ、「2023年の冬季と同水準」が39.3%、「2023年の冬季より増加する」が21.4%、「わからない」が16.1%、「2023年の冬季より減少する」が14.3%、「ボーナスの支給予定はない」が7.1%となった。

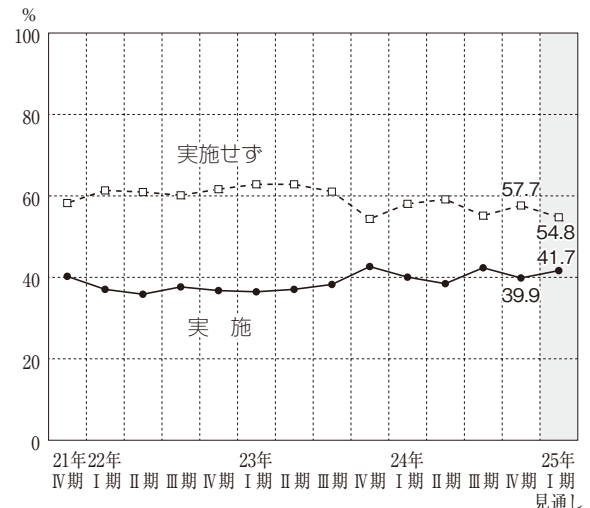
所定外労働時間と雇用者数の現状 (B S I)



経営上の問題点 (%)



設備投資実施割合



4 期ぶりの改善

◎業況判断

【今期】(2024年10～12月期〈Ⅳ期〉)

業況判断BSI：▲11.4 (前期比+ 8.9ポイント)

＜内訳＞

- ・よくなった 14.8% (前期比+ 5.5ポイント)
- ・悪くなった 26.2% (前期比▲ 3.4ポイント)
- ・変わらない 59.0% (前期比▲ 2.1ポイント)

＜業種別＞

- ・前期比改善：3業種(「化学・石油」「木材・家具」「印刷・出版」)
- ・前期比悪化：3業種(「鉄・非鉄金属」「機械」「食料品」)
- ・前期比不変：2業種(「窯業・土石」「その他」)

業況判断BSIは4期ぶりに改善したものの、引き続きマイナス水準であり、自動車関連や半導体関連で業況が悪化している。

【来期】(2025年1～3月期〈Ⅰ期〉)

業況判断BSI：▲18.1 (今期比▲ 6.7ポイント)

＜内訳＞

- ・よくなる 4.9% (今期比▲ 9.9ポイント)
- ・悪くなる 23.0% (今期比▲ 3.2ポイント)
- ・変わらない 72.1% (今期比+ 13.1ポイント)

＜業種別＞

- ・今期比改善：2業種(「鉄・非鉄金属」「機械」)
- ・今期比悪化：5業種(「化学・石油」「食料品」「木材・家具」「印刷・出版」「その他」)
- ・今期比不変：1業種(「窯業・土石」)

「木材・家具」では、住宅着工戸数減少による業況悪化を懸念している事業者がみられた。

◎売上高と収益

【今期】

売上高BSI：▲ 8.2 (前期比▲ 6.3ポイント)

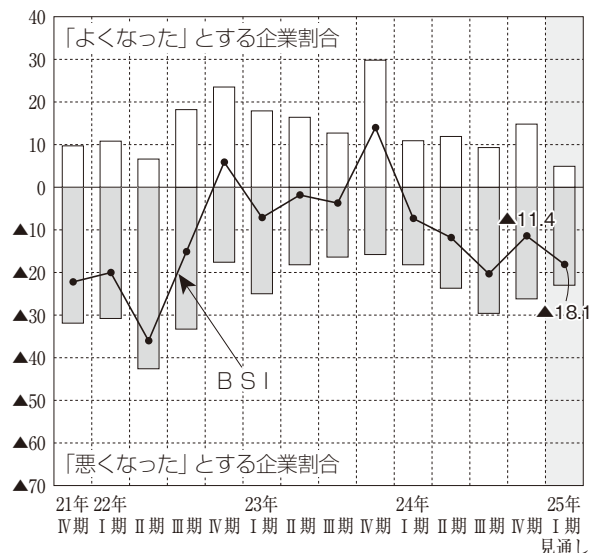
収益BSI：▲14.7 (前期比+ 5.7ポイント)

【来期】

売上高BSI：▲13.1 (今期比▲ 4.9ポイント)

収益BSI：▲22.9 (今期比▲ 8.2ポイント)

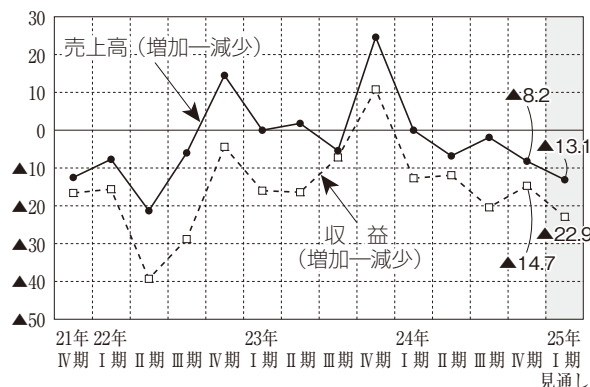
業況判断 (B S I)



業況判断指数内訳 (B S I)

	2024年 Ⅱ期	2024年 Ⅲ期	2024年 Ⅳ期	2025年 Ⅰ期見通し
化学・石油	▲12.5	▲25.0	11.1	0.0
鉄・非鉄金属	▲33.3	▲20.0	▲33.3	▲16.7
機 械	▲13.7	▲20.0	▲27.3	▲13.6
食 料 品	16.7	0.0	▲11.1	▲22.2
木材・家具	▲66.7	▲66.7	▲20.0	▲60.0
印刷・出版	0.0	▲25.0	50.0	▲25.0
窯業・土石	▲33.3	0.0	0.0	0.0
そ の 他	0.0	0.0	0.0	▲33.3
製 造 業	▲11.8	▲20.3	▲11.4	▲18.1

売上高と収益 (B S I)



卸売業は悪化、小売業はやや悪化

◎業況判断

【今期】(2024年10~12月期〈Ⅳ期〉)

『卸売業』

業況判断BSI : ▲30.0 (前期比▲14.2㊦)

＜内訳＞

- ・よくなった 5.0% (前期比▲ 0.3㊦)
- ・悪くなった 35.0% (前期比+13.9㊦)
- ・変わらない 60.0% (前期比▲13.7㊦)

『小売業』

業況判断BSI : ▲31.6 (前期比▲ 4.3㊦)

＜内訳＞

- ・よくなった 10.5% (前期比+ 6.0㊦)
- ・悪くなった 42.1% (前期比+10.3㊦)
- ・変わらない 47.4% (前期比▲16.2㊦)

卸売業は収益BSIはわずかに上昇したものの、売上高BSIは大幅に悪化し、業況判断BSIも悪化した。卸売業では、資材価格高騰による住宅着工戸数減少の影響から業況が悪化しているとの声が聞かれた。

【来期】(2025年1~3月期〈Ⅰ期〉)

『卸売業』

業況判断BSI : ▲40.0 (今期比▲10.0㊦)

『小売業』

業況判断BSI : ▲15.8 (今期比+15.8㊦)

業況判断BSIは卸売業では悪化、小売業では改善の見通し。小売業ではSNSでのプロモーション効果で売上改善を見込む企業が見られた。

◎卸売業：売上高と収益

【今期】

売上高BSI : ▲30.0 (前期比▲24.8㊦)

収益BSI : ▲25.0 (前期比+ 1.3㊦)

【来期】

売上高BSI : ▲35.0 (今期比▲ 5.0㊦)

収益BSI : ▲40.0 (今期比▲15.0㊦)

◎小売業：売上高と収益

【今期】

売上高BSI : ▲11.1 (前期比▲11.1㊦)

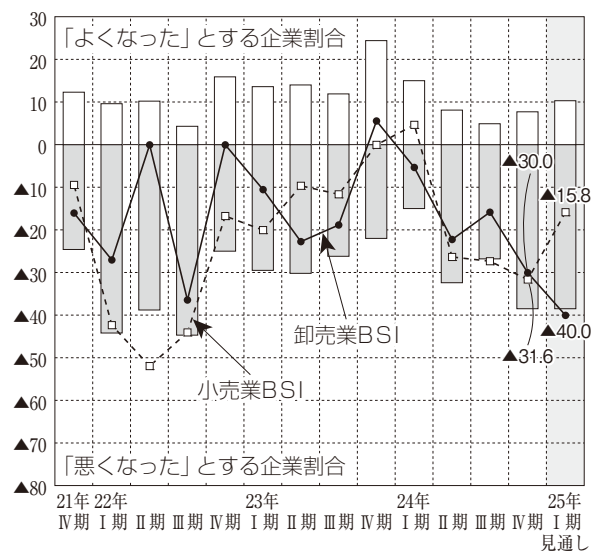
収益BSI : ▲22.2 (前期比+ 5.1㊦)

【来期】

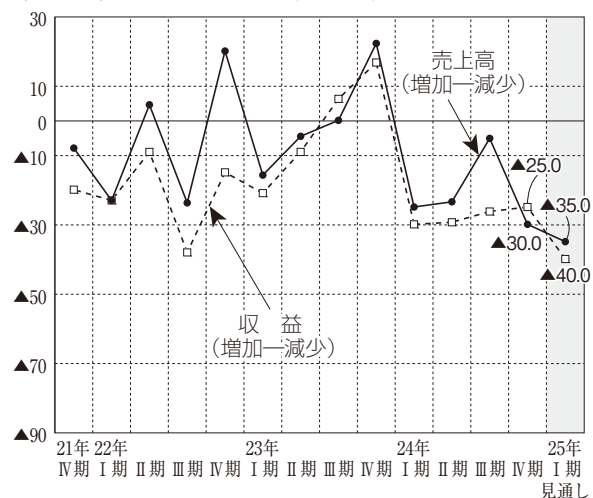
売上高BSI : ▲21.0 (今期比▲ 9.9㊦)

収益BSI : ▲31.5 (今期比▲ 9.3㊦)

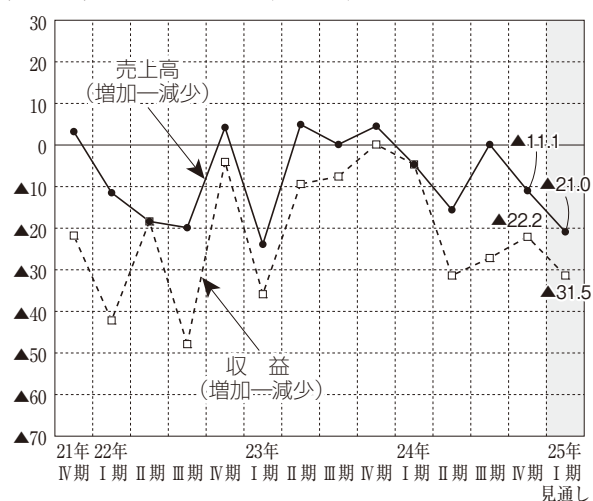
業況判断 (BSI)



【卸売業】 売上高と収益 (BSI)



【小売業】 売上高と収益 (BSI)



2期ぶりの悪化

◎業況判断

【今期】(2024年10～12月期〈Ⅳ期〉)

業況判断BSI：▲14.3（前期比▲ 3.8ポイント）

＜内訳＞

- ・よくなった 0.0%（前期比± 0.0ポイント）
- ・悪くなった 14.3%（前期比+ 3.8ポイント）
- ・変わらない 85.7%（前期比▲ 3.8ポイント）

前期と同様に「よくなった」と回答した企業はなく、業況判断BSIは2期ぶりに悪化した。経営上の課題として、6割以上の企業が人手不足・人材不足を挙げている。

【来期】(2025年1～3月期〈Ⅰ期〉)

業況判断BSI：± 0.0（今期比+14.3ポイント）

＜内訳＞

- ・よくなる 9.5%（今期比+ 9.5ポイント）
- ・悪くなる 9.5%（今期比▲ 4.8ポイント）
- ・変わらない 81.0%（今期比▲ 4.7ポイント）

来期の業況判断BSIは、大幅に改善する見通しであるものの、マイナス水準である今期から「変わらない」とする企業が大半を占めている。一部では、資材価格の高騰から収益減を危惧する声が聞かれた。

◎売上高と収益

【今期】

売上高BSI：▲14.2（前期比+ 1.6ポイント）

収益BSI：▲ 4.8（前期比+21.5ポイント）

【来期】

売上高BSI：+ 4.7（今期比+18.9ポイント）

収益BSI：▲14.3（今期比▲ 9.5ポイント）

◎所定外労働時間と雇用者数の現状

【今期】

所定外労働時間BSI：▲ 9.5（前期比+16.8ポイント）

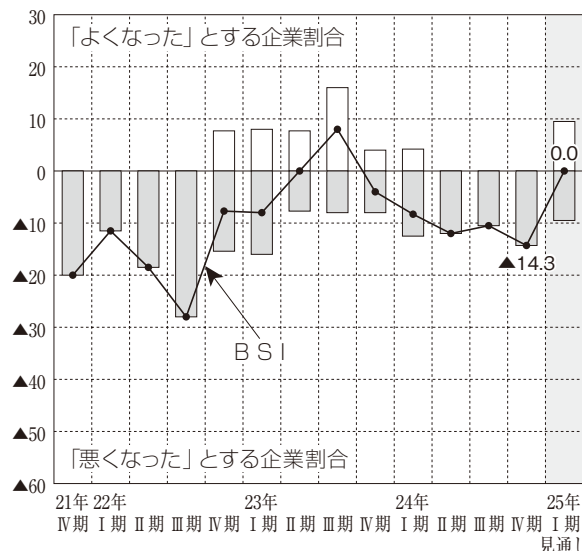
雇用者数の現状BSI：▲85.7（前期比▲ 6.8ポイント）

【来期】

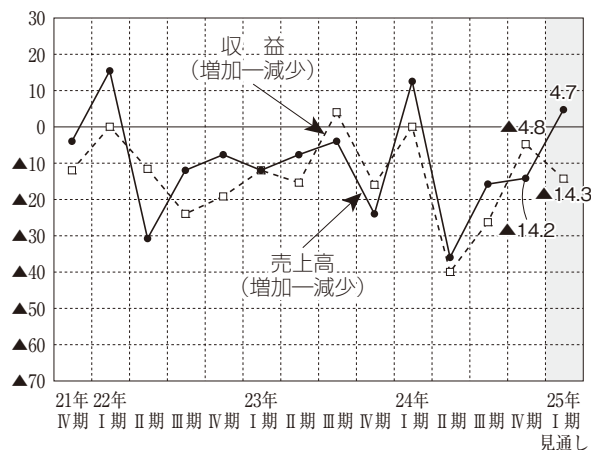
所定外労働時間BSI：+ 4.8（今期比+14.3ポイント）

雇用者数の現状BSIは、2期連続で過去最低を更新し、事業者の人手不足感は依然として強い状況が続いている。

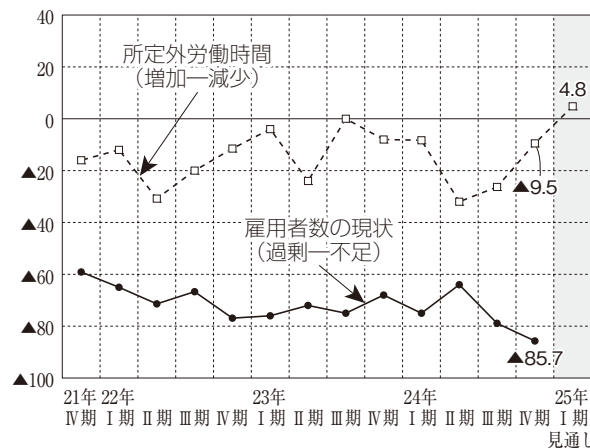
業況判断（BSI）



売上高と収益（BSI）



所定外労働時間と雇用者数の現状（BSI）



サービス業

(30社)

7期連続のプラス水準

◎業況判断

【今期】(2024年10~12月期〈Ⅳ期〉)

業況判断BSI: + 6.7 (前期比▲ 5.8ポイント)

＜内訳＞

- ・よくなった 20.0% (前期比▲ 1.9ポイント)
- ・悪くなった 13.3% (前期比+ 3.9ポイント)
- ・変わらない 66.7% (前期比▲ 2.1ポイント)

観光関連では、好調なインバウンド需要によって好況を維持する企業が多く、全体では7期連続のプラス水準となった。経営上の課題として、人手不足や原材料仕入価格高騰を挙げる企業が多かった。

サービス業のうち観光関連の14社では、「よくなった」と回答した企業は前期比0.4ポイント増の35.7%、「悪くなった」と回答した企業は2.5ポイント増の14.3%となった。

観光関連以外の16社では、「よくなった」と回答した企業は6.3%、「悪くなった」と回答した企業は12.5%だった。

【来期】(2025年1~3月期〈Ⅰ期〉)

業況判断BSI: ± 0.0 (今期比▲ 6.7ポイント)

＜内訳＞

- ・よくなる 16.7% (今期比▲ 3.3ポイント)
- ・悪くなる 16.7% (今期比+ 3.4ポイント)
- ・変わらない 66.7% (今期比± 0.0ポイント)

◎売上高と収益

【今期】

売上高BSI: + 6.7 (前期比▲ 2.6ポイント)

収益BSI: ▲ 3.3 (前期比▲ 3.3ポイント)

【来期】

売上高BSI: +17.3 (今期比+10.6ポイント)

収益BSI: +13.8 (今期比+17.1ポイント)

◎所定外労働時間と雇用者数の現状

【今期】

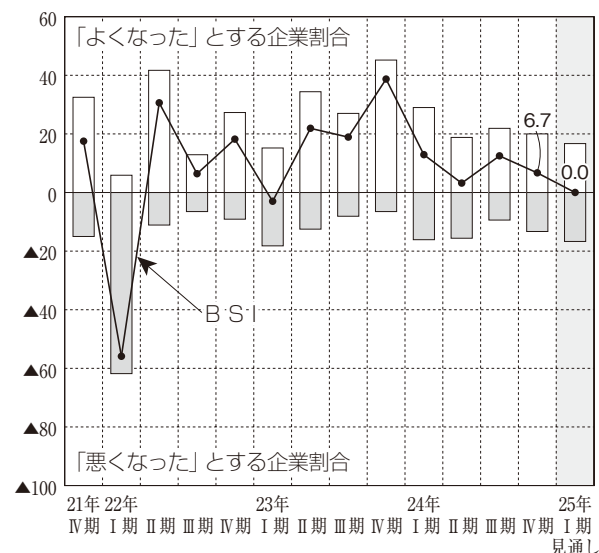
所定外労働時間BSI: + 6.7 (前期比+ 3.5ポイント)

雇用者数の現状BSI: ▲43.4 (前期比+14.7ポイント)

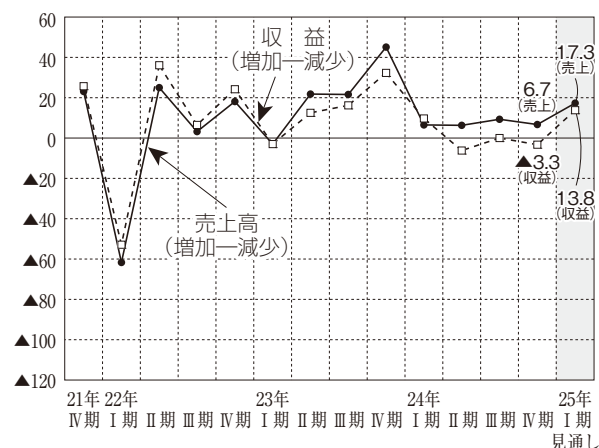
【来期】

所定外労働時間BSI: + 6.7 (今期比± 0.0ポイント)

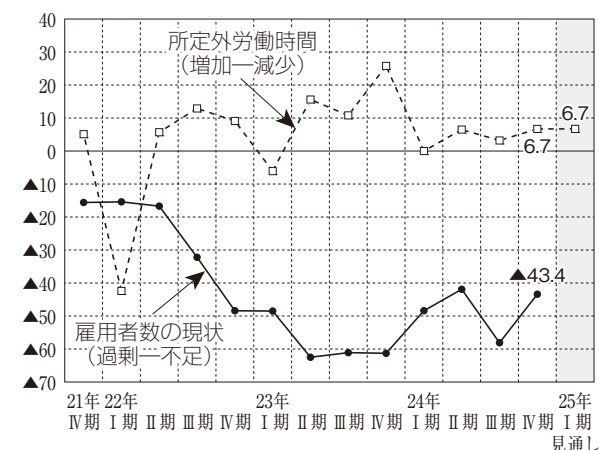
業況判断 (BSI)



売上高と収益 (BSI)



所定外労働時間と雇用者数の現状 (BSI)



BSIとは

BSIとは“Business Survey Index”の略

企業経営者の業況に関する判断や景気見通しを“よくなる・よくなった”、“変わらない”、“悪くなる・悪くなった”という3つの形式で回答を求め、これを数値であらわしたものである。

BSIは次の数式で求められる。

①〔よくなる〕+〔変わらない〕+〔悪くなる〕=100%とする

②〔変わらない〕の回答分を除く

③ $BSI = \frac{〔よくなる〕}{〔よくなる〕 + 〔悪くなる〕} \times 100$

BSIが前期を上回れば景気は改善、前期を下回れば悪化という見方をする。

調査の概要

当調査は、大銀経済経営研究所、大分信用金庫、大分県産業創造機構の三者合同によるアンケート調査である。

◎調査時点 2024年11月20日

◎調査の内容

- ・ 自社の景況の実績と見通し
- ・ 売上高と収益の実績と見通し
- ・ 設備投資実施割合
- ・ 経営上の問題点など

◎調査対象

- ・ 県内に本社または出先事業所を有する企業419社

◎回答企業数 168社

- ・ 回答率 40.1%
- ・ 規模別割合

資本金1千万円未満・個人	6.5%
資本金1千万円～1億円未満	60.7%
資本金1億円以上	17.9%
無回答	14.9%